

トーンキングロード
嘶家人生 山あり、谷あり

〔第58回〕

ちりとてちん

✦ 文 林家希林

text by Kirin Hayashiya ✦

上野鈴木本演芸場を皮切りに真打ち昇進襲名披露興行を新宿、浅草、池袋と40日間させていただきました。応援してくださった皆様ありがとうございました。ごさいます。

真打ちになった途端周りの方々から「師匠と呼ばれるようになり、この「師匠」と呼ばれることに慣れるまで時間がかかるのかなと思っていましたのですが、すぐに慣れてしまいました（笑）。寄席では私の師匠林家木久扇をはじめ、落語協会理事の方々にも並んでいただき、お一人お一人から口上のお言葉をいただきました、涙腺が緩みそうになってしまいました。

それからトリを務めるのですが、大初日は妙に緊張してしまいました。高座に座ると落ち着き、良い高座ができたかなと思う次第で、その後2日目3日目と慣れてきました。人間は慣れた時こそ気持ちを緩めてはいけないということを後半戦は再度意識し、気持ちを入れ直すことができたのかなと感じました。

トリが終わると師匠方や後輩を連れで打ち上げをします。この費用はトリをとった人が支払うしきたり、ましてや披露目の打ち上げとなると豪勢にやらなくてははいけません。この費用が1回平均15万から20万くらいかかり、トリを務めた日はこれを毎日やるという……。

お祝いされている立場なのに、なんだかよくわかりませんがその場においてくださる皆様に感謝もありますので喜んでやらせていただきます！

さあ晴れて真打ちになりました。これから皆様ご虫貞の程よろしくお願ひ申し上げます！

酒の席でもなんでもそうですが、奢る側からすると奢り甲斐のある相手と、そうでない相手がおりまして……。

とある旦那が碁の会を開こうと料理や酒を用意していたが、都合によって取りやめに。せっかくの料理を腐らすのもつたいないと、お向かいの金さん、世辞愛嬌が達者な人で、料理がもつたいないので食べてほしいと言うと「ちょうど今おなか为空いていたところで」と大喜び。上等な酒を勧められると「そういうのがあると聞いたことはあるが飲むのは初めて」と感激。鯛の刺身を食べても鰻を食べても、えらく感激をするので、旦那は機嫌がよい。しまいには白米にまで感動する。

旦那は旦那で、「食事はよいので何か酒のアテを」と家の者に言うとき「古い豆腐がある」と言われる。見てみるとすっかり色とりどりのカビが生えて酸っぱい臭いがツーンとする。流石に捨てようかと思ったその時、奢り甲斐

のない竹さんを思い出す。上等な酒だろが肴だろが、勧めても飲み食いするだけして文句ばかり言う不愛想な男。その上何か物を聞くと「知らない」とは決して言わず理屈ばかり言う嫌な癖があるという。この癖を改めさせるべく、この腐った豆腐で懲らしめようと思いつき……。

真打昇進襲名披露興行

浅草演芸ホール 10月中席(昼の部)(11時40分~)トリ11日(水)、17日(火)、20日(金)

池袋演芸場 10月下旬(昼の部)(13時~)トリ22日(日)、24日(火)

国立演芸場主催 2月(昼の部)(13時~) 9日(金)トリ10日(土)

ご予約は、「チケットぴあ」まで。 <https://t.pia.jp/>

profile

1989年東京浅草生まれ。父は元大関・清國勝雄。

2009年林家木久扇に入門

2013年二ツ目昇進。

2023年9月下旬より真打昇進。林家木りんから「希林」に改名。身長192cmと、落語協会一の高身長！

趣味は相撲、野球、読書、競馬、マラソン、空港見学。

空港についてエッセイ、コラムを書くほどの空港マニア。

初の著書『師匠!』発売中

